

新年のごあいさつ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年もよろしく申し上げます。

昨年は、東日本大震災からいろいろなことを考えさせられた1年でした。改めて、犠牲になられた方々への哀悼の意を表したいと思います。

私たちはこの大震災の教訓をもとにあらゆることを想定し、考え、学校教育、社会教育の立場から発信していかなければならないと思います。

社会教育から考えるならば、もう一度地域コミュニティの再構築に努めなければならないのではないのでしょうか。高齢化が加速するなか、核家族化、少子化によって失われつつある地域コミュニティの大切さを大震災から再認識しました。近い将来起こりうるであろう巨大地震・自然災害に対しての備えを家庭単位だけでなく、学校も含めたコミュニティ単位として考えていくことも必要ではないかと思えます。そんな各市町村の取組を発信する場として、この「西部教育事務所版・社会教育だより」を利用していただければありがたいですし、情報をお寄せくだされば幸いに思えます。

第15回 じんけんふれあいフェスタより

去る、12月4日(日曜日)高知市中央公園において、第15回じんけんふれあいフェスタが開催されました。

前日までの雨模様で心配された天気もすっかり回復し、12月にしては暖かいくらいの陽気になりました。12月4日～10日までの人権週間に合わせ、開催されてきたこの「じんけんふれあいフェスタ」は、「考えよう 相手の気持ち、育てよう 思いやりの心」をテーマに数えること15回になりました。9時30分の開場から約8,500名の来場があり、盛会だったように感じました。



午前のステージのスタートは「光の村養護学校黒潮太鼓」の演奏で、たどたどしさはあるものの、しっかり前を見つめ一生懸命太鼓をたたき子どもたちの姿に感動を覚えました。

知的障害のある子どもの自立をめざす私立の特別支援学校である「光の村養護学校」では、子どもたちが仕事につくため必要な体力をつけるために、トライアスロンなどさまざまな運動に取り組んでいるそうです。そのなかでも和太鼓の学習は、音楽的要素もふくめ、全身の力をバチ先に集中して力強い音を奏でる体力と持久力、柔軟性が必要なことから授業の中に取り入れているそうです。

「光の村養護学校」のみなさんと人権イメージキャラクター「人KENまもるくん」「人KENあゆみちゃん」による開会宣言のあと、よさこいピックの式典アトラクション参加を機に発足した、よさこいチーム「き・ら・り」のみなさんがよさこい鳴子おどりを披露してくれ、さらに会場を盛り上げてく

れました。その名のごとく「キラ、キラ」した笑顔を見せていただき、私も、参加者のみなさんも元気をもらったように思いました。

午前のステージの最後は、40年の歴史をもつ高知市立旭小学校吹奏楽部の吹奏楽の演奏でした。歴史の重みを感じるすばらしいステージでした。

午後のステージのスタートは、高知市を中心に活動しているシエロクラブの子どもたちが、プチ・ミュージカル「大切なもの」で人KENまもるくんの誕生10年をお祝いしました。ミュージカル「大切なもの」では友だちとのつながりと、なかまを思いやる気持ちの大切さを考えさせてくれる内容でした。ミュージカルに込められた思いは会場に来ていたみなさんにも伝わったと思います。

誕生10年を迎えた「人KENまもるくん」ですが、高知県出身の漫画家やなせたかしさんのデザインによって誕生しました。最初は、高知地方法務局、高知県人権擁護委員連合会、高知県人権啓発センター、高知県、高知市など主要市町村が参加して設立された「高知県人権啓発活動ネットワーク協議会」のイメージキャラクターとして高知県で誕生し、2001年、法務省の人権イメージキャラクターとなりました。その後誕生した「人KENあゆみちゃん」といっしょに、今では二人で仲良く活動しています。



私は、「人KENまもるくん」「人KENあゆみちゃん」との記念撮影のブースでお手伝いさせてもらったのですが、二人の人気はものすごく、記念撮影を待つ列が途切れることがほとんどない状態でした。

このフェスタの会場だけでなくいろいろな場で、子どもたちのなかにこの二人のことが意識されていることを感じることもあり、この二人のキャラクターの功績は多大だと思います。小さな子どもたちが今はわからなくても、大きくなったときこの二人を見れば人権について考えることにつながればと思います。

ステージの最後は、元ふきのとう・山木康世さんのコンサートでした。私の年代にはとてもなつかしい「白い冬」「風来坊」など、ふきのとう時代のヒット曲や最近の楽曲で、癒しの時間になったのではないのでしょうか。

ステージだけでなく会場内には、パネル・資料の展示コーナー、啓発・体験コーナー、盲導犬コーナーや、こども広場などのコーナーもあり、子どもも大人も楽しく人権について学ぶ時間を過ごしていました。また、こども広場でのヨーヨーつり、ぬり絵、バルーンアートのプレゼント、木工クラフトなど、たくさんのお土産を持って笑顔で帰路につく子どもたちの姿も見ることができ、この会場で充実した1日を過ごしてもらえたのではないかなと思いました。そして、この子どもたちが、将来みんなが楽しく、安心して過ごせる社会をつくってくれるんじゃないかなと、少し期待も込めながら思いました。

